

地域県土警察常任委員会資料

(令和7年4月21日)

ページ

- とっとり若者活躍局 令和6年度活動報告会の開催結果について
【協働参画課】・・・2
- 大阪・関西万博における本県の主な推進状況について
【観光戦略課】・・・別冊
- とっとりリアル・パビリオン「絶対！とっとりキャンペーン」について
【観光戦略課】・・・4
- 第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラム案に係るパブリックコメントの実施結果について
【観光戦略課】・・・5
- 江原特別自治道行政副知事の来県について
【交流推進課】・・・7
- 第54回日本漫画家協会賞「まんが王国とっとり賞」受賞作品決定について
【まんが王国官房】・・・8
- 「クールジャパンショーケース アニメ・マンガツーリズムフェスティバル」への出展について
【まんが王国官房】・・・9
- 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース5周年イベント実施結果及び令和7年度に開催の西部地域におけるアウトドアイベントについて
【西部総合事務所県民福祉局】・・・10

輝く鳥取創造本部

とっとり若者活躍局 令和6年度活動報告会の開催結果について

令和7年4月21日

協働参画課

県内の高校生から30代までの方で構成された「とっとり若者活躍局」の令和6年度活動報告会を「とっとり未来創造タスクフォース」と合同で開催しましたので、結果を報告します。

1 活動報告会の開催概要

- (1) 日時 令和7年3月26日(水)
午後1時30分～2時30分
- (2) 場所 鳥取県庁 講堂(鳥取市東町1丁目220)
- (3) 出席者 とっとり若者活躍局メンバー 21名
(高校生6名、大学生7名、社会人8名)
とっとり未来創造タスクフォース 6名
平井知事
- (4) その他 報告会の様子をとっとり若者活躍局のInstagramでライブ配信した。



2 報告の概要

(1) プロジェクト活動(地域課題を解決するためにメンバー自身が企画・実施する活動)

ア 概要

区分	名称	実施内容
第1期プロジェクト※	コネクトカフェ2nd	鳥取で働きたいと思う若者を増やすため、高校生・大学生と県内で働く若手社会人との交流イベントを開催した。 (東・中・西部で計4回開催、参加者数 学生55人、社会人29人)
	やってみよう!プロジェクト	学生が地域づくり活動に触れる機会を創出するため、イベント(県の名産品を使った「流し○○」)を高校生と大学生と一緒に企画し、鳥取駅前風紋広場で実施した。(参画した高・大学生12人、参加者数40人)
	とっとりラクガキしちゃう隊	「シャッターに絵を描いて鳥取を明るくする」を目標に、シャッターペイントイベントを倉吉市及び大山町で実施した。(参加者数55人)
	学生ライターによる地域の魅力発信プロジェクト	県内の高校生・大学生が 県内のスポット・飲食店・地域活動等を取材して記事を作成し、地域情報発信サイトを活用して魅力発信を行った。 (学生ライター11人、掲載記事19件)
	たぐるとうごプロジェクト	いかだの製作及び進水式やフィールドワーク等、東郷池との距離を縮める機会を生み出すイベントを実施した。(参加者数17人)
	ミドル・シニア世代から始める鳥取県式健康増進モデル作成プロジェクト	高齢者の社会参加に必要な要素を検討するため、県内在住のミドル・シニア世代の体力及び食生活に関する調査を実施し、その結果をまとめ啓発パンフレットを制作した。(調査協力者数177人)
第2期プロジェクト※	Heart Café	駅周辺で高校生等の若者が自由に過ごすことができる居場所づくりをイベント的に開催し、中・高・大学生が学校、学年の垣根を越えて交流した。(東・西部で計6回開催、延べ参加者数55人)
	Tottori Colorful FES	音楽と食とバリアフリーを合体させたフェスを鳥取市内(バードハット・丸由百貨店屋上)で開催し、若者の活動の機会を創出した。(食・物販などのブース出展18者、ステージ出演15団体、来場者数約2千人)
	とっとりすごろく	メンバーが独自に考案した鳥取県を舞台にしたすごろくで遊びながら、高齢者と若者世代が世代を超えて交流した。 (参加者数22人[うち高齢者12人])
	ワイワイ料理×交流	社会人とつながりたい学生や県外出身者のネットワークづくりを目指し、みんなで料理を作りながら交流するイベントを開催した。 (参加者数12人[うち県外出身者8人])
	ティラノサウルスで鳥取PR動画コンテスト	ティラノサウルスの着ぐるみを着て鳥取の観光地や食などの魅力をPRする動画キャンペーンをSNS上で実施した。 (キャンペーン期間12/23～2/24、応募件数55件、「#とっとティラノ」の閲覧数約10万回)
	キャラクター王国とっとりプロジェクト	様々な技術を活用して情報発信できる人材を育成するため、最新技術の体感イベント(メタバース体験、3Dキャラクター制作、VTuber体験)を開催した。(東・中・西部で計3回開催、体験者数 約300人)

※第1期プロジェクト:公開プレゼン(副知事・民間コメンテーター2名出席)を経て早期に着手した活動の呼称
第2期プロジェクト:メンバー間での合意形成を踏まえて年度後半に実施した活動の呼称

イ 主な成果等

- ・地域住民や学生等との交流機会を創出することで、地域と若者がつながる端緒となった。
- ・若者目線で捉えた県内の魅力をSNSやホームページ等で幅広く発信した。
- ・メンバー自身が企画・実施していく中で、イベント運営の段取りや広報の仕方など、課題を見つけながら実施することができ、メンバー自身の成長に繋がった。
- ・イベントの企画・運営を通じてメンバー自身が鳥取の魅力を再発見し、郷土愛の醸成につながった。
- ・イベント等への参加者の満足度は概ね高いものの、広報不足等により参加者数が伸び悩む取組があった。



学生と若手社会人の交流
(コネクトカフェ2nd)



若者の音楽ステージ
(Tottori Colorful FES)



高齢者と若者の交流
(とっとりすごろく)

(2) メンバー個人の活動

ア 概要

県の各審議会委員への就任、韓国江原道への若者交流団としての派遣、鳥縁祭^(※)への参加等、若者視点に立った提言やアイデア出しやとっとり若者活躍局の活動のPRを多方面で実施した。

(※) 鳥縁祭…「鳥取のご縁が集まる文化祭」をコンセプトに、首都圏在住の若者が鳥取県の新たな魅力を再発見するとともに、学生・社会人の交流の場となることを目的として開催されたイベント(とっとりへウェルカニネットワーク実行委員会主催)。

イ 主な成果等

- ・若者自身が抱える課題や困りごとを県へ直接伝える機会を設けることで、施策反映の実践・取組を推進した。
- ・メンバー自身が活動を通して県が抱える課題や取組について広い視野でとらえることができ、地域へ貢献したいという意識がより強くなった。



韓国江原道への派遣



鳥縁祭への参加

<参考：令和7年度 とっとり若者活躍局発足式>

日時 4月20日(日) 13時～13時15分

場所 鳥取市民交流センター(麒麟square) (鳥取市幸町71番地)

出席者 平井知事、とっとり若者活躍局コアメンバー・サポートメンバー、県庁タスクフォース職員

概要 任命書交付、メンバー決意表明、知事からの激励の言葉

とっとりリアル・パビリオン「絶対！とっとりキャンペーン」について

令和7年4月21日
関 西 本 部
観 光 戦 略 課

大阪・関西万博を契機とした観光誘客を図る「とっとりリアル・パビリオン」の取組として、「絶対！とっとりキャンペーン」を開始したので、その内容を報告します。

1 「絶対！とっとりキャンペーン」の概要

(1) キャンペーン概要

万博期間中、合計 1,000 名様に鳥取県産品が当たる 3 つのキャンペーンを実施し、鳥取県内での周遊促進を図ります。

ア 絶対オススメ！ぐるっと周遊とっとりスタンプラリー

大阪・関西万博「関西パビリオン 鳥取県ゾーン」及び鳥取県内の観光地を巡り、スマホ GPS 機能でスタンプを集めると、抽選で合計 400 名様に鳥取県産品をプレゼント。

スタンプ 3 個（3 千円相当の賞品）と 7 個（5 千円相当の賞品）で 2 回応募が可能。

【期間】令和 7 年 4 月 13 日（日）～10 月 13 日（月・祝）

【主なスポット】万博会場関西パビリオン鳥取県ゾーン、鳥取砂丘、県立美術館など 41 か所

イ 帰った後まで絶好調！とっとり宿泊チャンス

鳥取県内の対象宿泊施設に宿泊すると、毎月抽選で 100 名（期間中合計 500 名）に 5,000 円相当（送料込み）の鳥取県産品をプレゼント。

【期間】令和 7 年 4 月 13 日（日）～8 月 31 日（日）

【対象施設】県内の旅館・ホテルなど 155 施設

ウ 絶対いいね👍 とっとり SNS チャレンジ

鳥取県内の観光地や大阪・関西万博「関西パビリオン 鳥取県ゾーン」を訪れ、撮影&SNS 投稿すると、抽選で合計 100 名様に 5,000 円相当（送料込み）の鳥取県産品をプレゼント。

【期間】第 1 弾／令和 7 年 4 月 13 日（日）～7 月 31 日（木）50 名様

第 2 弾／令和 7 年 8 月 1 日（金）～10 月 13 日（月・祝）50 名様

(2) 今後の発信

- ・県公式 SNS（Instagram、X、Facebook、YouTube）での広告配信
- ・国内インフルエンサー活用による旬の情報や食の魅力等と併せた情報発信
- ・WEB メディア、雑誌等のタイアップ広告
- ・万博会場内のイベントや関西メディアキャラバン等での情報発信 等

2 「まるごとテーマパーク！鳥取県へ出かけよう！」の開催

「絶対！とっとりキャンペーン」開始を PR するため、万博開幕に合わせ、日本旅行と連携し、イベントを開催しました。イベントでは、知事トッププロモーションのほか、万博鳥取県ゾーン PR コーナー設置や鳥取和牛などの県産品が当たる抽選会などにより、鳥取県の魅力を発信しました。

(1) 日 時 令和 7 年 4 月 13 日（日） 午前 11 時から午後 5 時まで

(2) 場 所 大阪駅 大阪ステーションシティノースゲートビルディング 2 階アトリウム広場

(3) イベント概要

ア ステージイベント

(ア) 主催者挨拶（鳥取県 平井知事、日本旅行 関昌弘執行役員）

(イ) 鬼太郎の着ぐるみ登場によるまんが王国鳥取 PR

(ウ) 旅行券が当たる〇×クイズ、ガラポン抽選会、
じゃんけんゲーム

(エ) 市町村職員及びゆるキャラによるご当地 PR タイム

イ 観光 PR ブース

(ア) とっとりリアル・パビリオン、マンガ、食、市町村観光情報等の紹介とパンフレット配布

(イ) 鳥取県ゾーンの模型や万博キャラクターの缶バッジ作成等の大阪・関西万博 PR コーナー設置



第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラム案に係るパブリックコメントの実施結果について

令和7年4月21日

観 光 戦 略 課

本県での一層の自転車活用推進を目的とした「第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラム」についての検討を進めるにあたり、本プログラム案を示し、パブリックコメントを実施しましたので、その結果を報告します。

1 パブリックコメントの意見聴取状況

- (1) 実施期間 令和7年3月21日（金）から令和7年4月9日（水）まで
- (2) 周知方法
 - ・とりネットへの掲載のほか、新聞広告への掲載（3月22日）
 - ・県庁県民課、各総合事務所県民福祉局、日野振興センター日野振興局、東部・八頭庁舎、県立図書館及び各市町村窓口にチラシ・意見表の配架
 - ・サイクルツーリズム振興室の公式SNS（Instagram、Facebook、X）での告知
- (3) 意見数 18件（9名）
- (4) 主な意見と対応方針
 - ア プログラム案に対する意見

項目	意見概要	対応方針
【目標1】地域の魅力を拓くサイクルツーリズムの推進	鳥取うみなみロードだけではなく、新たなサイクリングロードの設定や整備を進めて欲しい。	〔反映済〕 「魅力ひろがるサイクリングルートの整備」(p16)の中で、関係機関と連携し、新たなサイクリングルートの設定・整備を検討することとしており、今後積極的に取組を進めていきます。
	サイクリングコースの走行環境等の維持管理について記載があった方がよい。	〔反映済〕 「魅力ひろがるサイクリングルートの整備」(p16)の中で、サイクリングロードの定期的な点検による維持・管理により走行環境の改善や充実を図り、適切な走行環境の維持に努めていきます。
	まちなかサイクリングガイドを実践されている講師を招いたサイクリングガイド講座やワークショップの実施、インバウンドに対応させたガイドの育成も必要である。	〔反映済〕 インバウンドに対応させたサイクリングガイド養成は今後重要であると考えています。「ガイド人材の育成」(p18)の中でサイクリングガイド講座の継続的かつ参加者のレベルに応じた実践的なプログラムの中で、まちなかサイクリングやインバウンドに対応したサイクリングガイドの育成を進めていきます。
	鉄道以外の二次交通（バスやタクシー、レンタカーなど）に関する推進計画についての記載があった方がよい。	〔反映済〕 地域の交通事業者との連携により、今ある公共交通機関を活用していくこととしており、「公共交通機関の利用促進」(p19)の中で、より多くの方が気軽にサイクリングを楽しむことができる環境づくりを進めていきます。
	鳥取うみなみロードに隣接する市町村や郡部につながるサブサイクルロードの活用推進部分についての記載があった方がよい。	〔反映済〕 「鳥取うみなみロードの利用促進」(p22)の中で、鳥取うみなみロードを基軸とした地域を巡るサイクリングルートを設定することとしており、鳥取うみなみロードの利用促進とともに同ルートを基軸とした県内周遊の促進を一層進めていきます。
【目標2】環境にやさしく健康で活気に満ちたライフスタイルの実現	地元住民に対する自転車利用について啓発活動が必要である。	〔反映済〕 「自転車を日常生活に取り入れよう」(p23)の中で、自転車利用に関する普及啓発を進めていくこととしており、今回、プログラム策定にあわせ、自転車の魅力や健康面・環境面の具体的な有用性などを記したリーフレットを作成し、普及啓発を行っていきます。

【目標３】命と未来を守る安全・安心な自転車ライフの推進	年齢が小さいうちから最低限の道路交通法教育を徹底させるべきである。	〔反映済〕 「交通安全意識の向上」（p30）の中で、年代・ライフステージに応じて、道路の通行方法や自転車の正しい乗り方に関する参加・体験・実践型の交通安全教育を行うこととしており、子ども頃からの交通安全教育も進めていきます。
【目標４】誰もが自転車を利用しやすい環境の整備	交通事故の予防のため、車道と歩道の間に、自転車が安全に走ることでできる専用レーンの整備をしてほしい。	〔反映済〕 自動車と自転車、歩行者が安全・安心・快適に道路を利用できるよう、「自転車の走行空間の確保」（p35）の中で、道路の整備計画等も踏まえながら、可能な路線については路肩の拡幅や自転車通行帯の設置等を進めていきます。
	レンタサイクル事業者に対する専門業者による自転車等の定期点検の徹底を考えたらどうか。	〔反映済〕 「利便性の向上」（p37）の中で、レンタサイクルの利便性向上について事業者と連携し、誰もが安心・快適に利用できるように環境整備を進めていきます。

イ その他

意見概要	対応方針
鳥取うみなみロードのサブルート（迂回路）の選定が進められているが、サブルートの名称に地名を使用するなど分かりやすいものにしてほしい。	鳥取うみなみロードのサブルート（迂回路）には、地域の魅力が伝わるよう、地名など分かりやすい名称を表記して設定することとします。

2 今後の予定

令和7年4月中

策定・公表

江原特別自治道行政副知事の来県について

令和7年4月21日
交 流 推 進 課

令和7年1月に着任した大韓民国江原特別自治道 呂重協（ヨ・ジュンヒョプ）行政副知事が、県立美術館の開館をお祝いいただくため以下のとおり来県されましたので報告します。

1 来県者

江原特別自治道 呂重協（ヨ・ジュンヒョプ）行政副知事 ほか5名

2 日 程

- 3月26日（水）米子ソウル便で来県、夢みなとタワー視察、亀井副知事との面談
- 3月27日（木）日韓友好資料館視察、青山剛昌ふるさと館視察、鳥取砂丘視察、中川酒造視察
- 3月28日（金）平井知事との面談、県立美術館開館記念式典への出席、米子ソウル便で離県

3 内 容

（1）平井知事との面談

- ・日時：3月28日（金）9時45分～9時55分
- ・場所：鳥取県立美術館
- ・主な発言：
 - 平井知事から県立美術館開館にあわせた来県と両県道の活発な交流への謝意をお伝えした。
 - 呂重協行政副知事から、江原特別自治道への訪問依頼が伝えられた。

（2）両県道副知事面談

- ・日時：3月26日（水）18時～18時30分
- ・場所：皆生グランドホテル天水（米子市皆生温泉）
- ・主な発言等：
 - 亀井副知事は「相互協力により空の道（米子ソウル便）、海の道（東海－境港間の国際定期貨客船航路）が再開した。これまで築いてきた「心の道」もより一層深めていきたい。」と発言。
 - 呂重協行政副知事は「米子ソウル便を利用して、両県道の往来を活発にしていきたい。」と発言。

（3）県立美術館開館記念式典への出席

- ・日時：3月28日（金）10時～10時50分
- ・場所：県立美術館
- ・概要：県立美術館開館記念式典に参加、海外来賓としてテープカットを行った。

（4）江原経済人連合会との意見交換会

- ・日時：3月28日（金）12時～13時30分
- ・場所：芙蓉別館（米子市皆生温泉）
- ・参加者：江原経済人連合会 全億燦（チョン・オクチャン）会長 ほか13名
トウウォン商船株式会社 イ・デホン物流旅客チーム長
イースタンクルーズ&フェリー株式会社 イム・ウォンジン課長
江原特別自治道 呂重協副知事 ほか7名
環日本海経済活動推進協議会 足立統一郎会長 ほか1名
鳥取県 亀井副知事、境港管理組合 岩下事務局長
- ・概要：境港と東海を結ぶ国際定期航路を活用し、両県道における経済・人的交流をより一層活発化していくことで意見が一致。



両県道副知事面談



平井知事との面談



県立美術館開館記念式典参加

第54回日本漫画家協会賞「まんが王国とっとり賞」受賞作品決定について

令和7年4月21日
まんが王国官房

「第54回日本漫画家協会賞」（主催：公益社団法人日本漫画家協会、1972年度から毎年開催）の選考会が4月9日に実施され、4月14日に受賞作品が発表されました。令和3年度に新設された「まんが王国とっとり賞」（県知事賞に相当）には、とあるアラ子氏の『ブスなんて言わないで』（講談社刊）が選出されました。

1 第54回（2025年度）日本漫画家協会賞概要

- (1) 主催者：公益社団法人日本漫画家協会
- (2) 目的：漫画文化の普及と日本漫画界の向上発展をはかる目的のもとに優秀作品を顕彰すること
- (3) 対象等：当該年度の前暦年中に発表又は制作された出版物又は描き下ろし漫画作品。自薦又は会員の推薦により応募された作品から選考する。
- (4) 賞：大賞（コミック部門、カーズーン部門、萬画（まんが）部門）、知事賞（鳥取県、高知県）、文部科学大臣賞
- (5) 後援：文化庁、鳥取県、高知県

2 まんが王国とっとり賞（鳥取県知事賞）概要

- (1) 件数：1件
- (2) 選考基準：漫画文化への貢献が顕著であり、今後の益々の発展が期待される作品又は作者
※まんが王国・土佐賞（高知県知事賞）選考基準：漫画に関する事業を行い、まんが文化の発展に尽力された団体等
- (3) 受賞作品
 - ・作者：とあるアラ子
 - ・作品名：『ブスなんて言わないで』（講談社刊）
 - ・受賞理由：主人公から端役までを絶妙なカリカチュアで描き『ルッキズム』の本質を今の社会のリアルと共に丁寧に深く、深く掘り下げた意欲作。

3 その他の受賞作品

賞	作者・作品等
大賞 コミック部門	『ツレ猫 マルルとハチ』園田ゆり（そのだ・ゆり）
大賞 カーズーン部門	『10人の博士の昼休み』山口マサル（やまぐち・まさる）
大賞 萬画（まんが）部門（R5から新設）	『星旅少年 Planetarium ghost travel』坂月さかな（さかつき・さかな）
まんが王国・土佐賞	『罌撃ちのサムライ』本庄敬（ほんじょう・けい）/井原忠政（いはら・ただまさ）
文部科学大臣賞	『楳図かずお 全作品』楳図かずお（うめず・かずお）

4 主催者概要

- (1) 名称：公益社団法人日本漫画家協会
- (2) 代表者：理事長 里中満智子（さとなか・まちこ）
- (3) 会員数：3,825名（2025年3月31日現在・正会員数）

（参考）過去のまんが王国とっとり賞受賞作品

- ・第50回 作者：小梅けいと、作品名：『戦争は女の顔をしていない』（スヴェトラナ・アレクシエーヴィチ原著・速水螺旋人監修、KADOKAWA刊）
- ・第51回 作者：タイザン5（たいざんふあいぶ）、作品名：『タコピーの原罪』（集英社刊）
- ・第52回 作者：つくしあきひと、作品名：『メイドインアビス』（竹書房刊）
- ・第53回 作者：石山 諒、作品名：『龍とカメレオン』（スクウェア・エニックス刊）

「クールジャパンショーケース アニメ・マンガツーリズムフェスティバル」への出展について

令和7年4月21日
まんが王国官房

内閣府知的財産戦略推進事務局が主催し、アニメ・マンガと地域が連携して魅力を発信してインバウンド誘客等に結びつける実証調査として開催する「クールジャパンショーケース アニメ・マンガツーリズムフェスティバル」に次のとおり出展します。

- 1 会場：2025年大阪・関西万博 会場内 EXPO メッセ「WASSE」(約2,000 m²のイベントホール)
- 2 会期：4月30日(水)～5月2日(金)の3日間
- 3 開催時間：午前11時～午後5時
- 4 来場者数：3万人(1日1万人程度)うち、想定外国人割合15%=4,500人 ※人数は予定
- 5 ゾーニング：

○メインステージ・櫓ステージ

主催者イベントや出展社によるイベントプログラムにて構成(鳥取県参加)

○出展者ブース

26団体/社により出展ブースを展開

都道府県	団体/社名	都道府県	団体/社名	都道府県	団体/社名
北海道	(一社)札幌マンガ・図書等活用まちづくり機構	静岡県	沼津市	高知県	高知アニメクリエイター聖地プロジェクト
福島県	いわき湯本温泉 Ryokan こいと	三重県	熊野市観光協会	福岡県	北九州市漫画ミュージアム
群馬県	ぐんまフィルムコミッション	京都府	京まふ(京都国際マンガ・アニメフェア)	長崎県	五島市
群馬県	館林市	兵庫県	西宮市	大分県	日田市
新潟県	三条市・一ノ木戸商店街 DIY!!ファンベース	兵庫県	宝塚市・宝塚市立手塚治虫記念館	沖縄県	南風原町
山梨県	やまなし観光推進機構	兵庫県	ニンゲンノモリ	—	日本航空
岐阜県	飛騨高山	鳥取県	まんが王国とっとり	—	そらのうえショッピングモール
静岡県	静岡市・ちびまる子ちゃんランド	山口県	宇部市	—	アニメツーリズム協会
静岡県	静岡市	香川県	土庄町		

○展示エリア

装飾ディスプレイ、外務省等の展示及び外国語訳された漫画が読めるライブラリーコーナーの設置

○物販コーナー

各出展者の商品の物販を実施(水木しげる記念館及びコナン探偵社が参加)

6 その他

○初日のオープニングセレモニーでのテープカットに列席するとともに、オープニングステージでのスピーチ(「まんが王国とっとり」のアピール)で平井知事が登壇します。



ロゴ



イメージ

白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース5周年イベント実施結果及び 令和7年度に開催の西部地域におけるアウトドアイベントについて

令和7年4月21日
西部総合事務所県民福祉局

風光明媚な「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」が開通5周年を迎えたのを記念し、コース周辺の清掃活動並びに小学生対象の「初めてのサイクリング教室」等の記念イベントを開催しましたので報告します。

西部地域では令和7年度も、日本海と秀峰大山が近接する当地の地形的特性を活かしたスポーツイベントが開催予定であり、地域の魅力を活かしたアウトドアツーリズムを引き続き推進していきます。

1 白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース5周年イベント実施結果

(1) 日 時 令和7年3月22日(土) 午前9時から11時40分まで

(2) 場 所 弓ヶ浜公園北側ロータリー付近(米子市両三柳地内)

(3) 参加者 約200人

(4) 内 容

ア 開会式

開会式では、継続的にサイクリングコースの美化活動が行われている「弓ヶ浜サイクリングコースきれいに守り隊(隊長 生田仁史県サイクリング協会会長)」に対し感謝状を贈呈。

イ 清掃活動

ウ 初めてのサイクリング教室

小学生を対象とした安全教室と弓ヶ浜サイクリングコースの試走(協力:県サイクリング協会、森の国)

エ その他

清掃活動終了後に県立美術館招待券(50組100名)が当たる抽選会を実施。



2 西部地域におけるアウトドアイベントの開催予定(令和7年度)

開催日	イベント名	主催	概要
5/31(土), 6/1(日)	皆生・大山 SEA TO SUMMIT2025	皆生・大山 SEA TO SUMMIT 実行委員会(事務局:大山山麓・日野川流域観光推進協議会)	日本海から大山山頂までを人力(カヤック・自転車・登山)で移動しながら、自然の大切さを感じる当地発祥の環境型スポーツイベント。今回で14回目の開催。
6/22(日)	新米子市誕生20周年記念中海オープンウォータースイム2025	中海オープンウォータースイム実行委員会(事務局:一般社団法人里山生物多様性プロジェクト)	H23.6に中海のワイズユースの一環として、水質改善活動10周年を記念に開催。今年は新米子市誕生20周年を記念して開催。
7/20(日)	第43回全日本トライアスロン皆生大会	皆生トライアスロン協会	トライアスロン発祥の地・皆生の海を泳ぎ、大山山麓を自転車で駆け抜け、白砂青松の弓ヶ浜半島を走り抜ける国内を代表する大会。